

27日（朝）

（聖句／ヘブライ人への手紙13章14、15節）

わたしたちはこの地上に永続する都を持っておらず、来るべき都を探し求めているのです。だから、イエスを通して賛美のいけにえ、すなわち御名をたたえる唇の実を、絶えず神に献げましょう。

（祈り）

恵みの源である神よ、豊かな祝福でわたしたちを満たしてください。
わたしたちが、日々罪に死んで新しいのちに生き、
栄光の現れを待ち望むことができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

（詩編115編）

わたしたちではなく、主よ、わたしたちではなく
あなたの御名こそ、栄え輝きますように
あなたの慈しみとまことによって。
なぜ国々は言うのか。「彼らの神はどこにいる」と。
わたしたちの神は天にいまし、御旨のままにすべてを行われる。
国々の偶像は金銀にすぎず、人間の手が造ったもの。
口があっても話せず、目があっても見えない。
耳があっても聞こえず、鼻があってもかぐことができない。
手があってもつかめず、足があっても歩けず
喉があっても声を出せない。
偶像を造り、それに依り頼む者は、皆、偶像と同じようになる。
主よ、わたしたちを御心に留め、祝福してください。
主を畏れる人を祝福し、大きな人も小さな人も祝福してください。
天地の造り主、主が、あなたたちを祝福してくださるように。
天は主のもの、地は人への賜物。
主を賛美するのは死者ではない
沈黙の国へ去った人々ではない。
わたしたちこそ、主をたたえよう
今も、そしてとこしえに。ハレルヤ。

（主の祈り）

天にまします我らの父よ、願わくはみ名を崇めさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。
我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。
国と力と栄えとは、限りなく汝のものなればなり。アーメン